



「輝け！橋っ子」通信

橋小学校ホームページのQRコードです。

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」

12月10日は「世界人権デー」です。1948年12月10日に国連総会で世界人権宣言が採択され、1950年12月4日の総会において、この日が「人権デー（Human Rights Day）」と定められました。日本でも12月4日から10日を「人権週間」と定め、全国的に人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動が行われています。多くの学校では、この時期に人権集会や人権授業参観を行い、保護者の皆さんに学校での人権教育の様子を知っていただく機会としております。本校でも、11月28日（火）に人権集会を、12月1日（金）に人権授業参観・人権コンサートを行いました。その様子を紹介します。



阿南那賀地区保護司会からパンジーをいただきました。

人権集会

11月28日（火）2校時、体育館で人権集会を行いました。はじめに、PTA 会長さんから子どもたちに自主学習ノートの贈呈があり、「自分の夢を叶えるために、自分の興味があることをしっかり勉強してください」と励ましの言葉をいただきました。次に、2年生の佐〇〇さんが「にこにこのわたし」、4年生の高〇さんが「迷わず勇気を出すこと」、6年生の岡〇さんが「命を守り合うために」と題する人権作文を発表しました。それぞれに、友達の励ましの言葉で自信がついて何でもがんばれるようになったことを、友達がいじめられているのでは？と気付いたら注意できる勇気をずっと持っていきたいという気持ちを、人と人のつながりを大切にして災害時には自分や自分の周りの人の命を守りたいという決意を、発表してくれました。最後に、人権委員会による人権劇「きみならどうする？」を見て、のびのび班に分かれて話し合いをしました。友達に「遊ぼう」と誘った子どもが仲間はずれにされ、それに気付いた周りの子どもが知らないふりをしてしまう、といった短い人権劇でしたが、どの班でも、「勇気を出して声をかけることが大切」「仲間はずれにされている子がいたら必ず声をかける」といった意見がたくさん聞かれました。

いじめや差別をなくしていくには、自分以外の人も自分と同じように大切にできる心をもつことが大切です。まずは相手を大切にする言葉を伝える、つらい思いをしている人に気付いたら「大丈夫？」と気遣う声をかけられる橋っ子になってほしいと願います。



2年生佐〇〇さんの発表



4年生高〇さんの発表



6年生岡〇さんの発表



人権委員会の人権劇



のびのび班の話し合い

人権授業参観&人権コンサート

12月1日（金）の午後から、人権授業参観と人権コンサートを行いました。授業参観では、1年生は「自分なら、どういう？どうする？」、2年生は「じんけんカルタを作ってみよう！」、3年生は「パラスポーツ」、4年生は「さわやかに気持ちを伝えよう」、5年生は「めざそう！かっこいいインターネットの使い手」、6年生は「ちがいのちがいの」というテーマで、様々な人権について考える授業を行いました。子どもたちは、人それぞれにいろいろな考え方や生き方があること、「相手を大切にするためにどんな伝え方をすればいいか」「皆が幸せに生きられる学校や世の中にしていくために自分にできることは何か」といったことについて真剣に考えることができました。

続く人権コンサートでは、阿南市人権ふれあい子ども会指導員の西本先生を講師に迎え、西本先生演奏の歌を聴いたり、命の大切さや子どもの権利・ジェンダーギャップ・LGBTQ などについてお話を伺ったりしました。参加者は、世界には様々な立場に置かれた人がいること、自分とは異なる見方があること、そのことを知って互いを応援できる世の中にしていくことが大事であると、学ぶことができました。西本先生、ありがとうございました。寒い体育館での開催にも関わらず、ご参加くださった保護者の皆様も、ありがとうございました。



1年生 自分ならどうする？



2年生 オリジナルカルタだよ



3年生 パラスポーツを紹介



4年生 どんなふうに伝えるかな



5年生 ネットは正しく使おう



6年生 あってもいい違いとは？



人権コンサート 西本先生熱唱



西本先生にお礼のお花を渡す児童